

「校歌と制服」

おはようございます。

昨日は、抜けるようなすばらしい青空のもと、第65回墨田区民体育祭「駅伝・ロードレース大会中学生の部」が荒川四ツ木橋緑地競技場で開催されました。後ほど、表彰がありますが、駅伝競走（5区間12.5km）中学女子の部で第2位、中学男子の部Bチームが第3位というすばらしい成績を残すことができました。また、中学男子の部Aチームやロードレースの部にエントリーした選手も大健闘してくれました。毎日努力した朝練習や授業での練習の成果が実った結果であり、本校にとっても大変名誉なことでもあります。今回の結果、東京都中学校駅伝の出場候補選手として大抜擢された人もいます。さらなる健闘を期待したいと思います。

さて、本日は、統合新校桜堤中学校の「校歌と制服」ができたということで、そのお披露目をしたいと思います。

まず、「校歌」ですが、「校歌」とは、その学校を象徴するものとして制定された歌であり、建学の精神や理想とする校風などを表し、その学校の一員であるという誇りと自覚を高めるなどの目的で、式典や学校行事のときなどに歌われるものです。

桜堤中学校の校歌は、縁あって私の知人であり、たくさんの中学生のための歌を作曲している洗足学園音楽大学の准教授の滝口亮介氏に、作詞を詩人の樋口久人氏にお願いし、先日、楽譜と録音したCDが両校に届きました。さらに12月後半には、校歌の混声三部合唱に編曲したものと吹奏楽伴奏で演奏できるように編曲したものもできあがることになっています。「墨田の堤、名園の～」と64年間歌い継がれてきた本校の校歌同様、桜堤中学校の校歌も、一人ひとりの生徒が学校の一員であるという誇りと自覚をもって歌い継いでいってほしいと思います。

次に「制服」ですが、「制服」とは、学校などとくに制定されたユニフォームのことをいいます。学校のイメージやその性格を表す機能をもち、その学校の生徒の連帯意識を高めることや外部に対してその学校の生徒であるということを明示することを目的としています。今回、たくさんの業者の中から、様々な要件を満たした業者が選定され、皆さんをはじめとする多くの人たちにもアンケートにより投票してもらい、今回の制服ができあがりました。本日は、本校64年の歴史を閉じる最後の卒業生である三年生の男子1名、女子2名に代表として着てもらいました。来週には1・2年生の制服の採寸が行われます。表彰の後、制服を作製してくれた業者の方が、映像を交えて制服のコンセプトや正しい着こなしについて説明してくれることになっています。しっかりと聞いてください。

以上で校長講話を終わります。